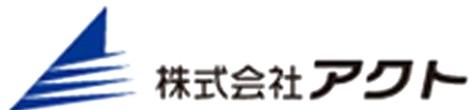


# インターネット投票で考慮すべき点

浅井 延幸



# インターネット投票に則した運用設計

## 主な選挙の運用内容

- ✓ 住基から選挙人名簿の作成
- ✓ 自治体別の選管による選挙人調整
- ✓ 投票所入場券の発送
- ✓ 在外投票対応
- ✓ 期日前投票所設営&運用
- ✓ 当日投票所設営&運用
- ✓ 開票
- ✓ 各種後片付け

※上記とは別に以下の運用も  
(本WGとは直接は関係のない内容)

- ✓ 立候補者の選挙活動対応

## 変更後の運用内容

- ✓ 住基から選挙人名簿の作成
  - Webシステムと住基システムが連動
- ✓ 自治体別の選管による選挙人調整
  - 自治体間でデータ連携され調整作業が簡素化
- ✓ 投票所入場券の発送
  - メールorアプリ等での通知と発送
- ✓ 在外、期日前、当日投票
  - 期間内であればインターネットでの投票が可能
  - 最適化した規模の投票所設営&運用
  - ※投票所でインターネット投票できる環境を設営
- ✓ 開票
  - 自動集計+一部のシステム外投票分のケア
- ✓ 各種後片付け
  - 投票所の撤去 ※以前よりは少ない想定

# 緊急時対応計画を前提とした運用設計

## ■ 緊急時対応計画とは

緊急時対応計画（コンティンジェンシープラン、コンチプラン）

災害や事故など想定外の事態が起きた時のために、事前に定めておく対応策や行動手順のこと。

滅多に起こらないが、発生すれば破滅的な結果につながる例外的事案に対するリスク管理を指すことが多い。

Wikipediaより

インターネット投票の運用において、システムは高可用性、冗長性の考慮を前提とし、局所的なネットワーク障害やクラウドサービスの予期せぬ障害発生時の選挙自体の継続を主とした計画、運用設計を指す。

### 既存運用でのコンチプラン

- ✓ 事前に名簿を紙で印刷、各投票所へ配置
- ✓ 投票所の機器障害に対応すべく予備機及び予備の予備を投票所へ即時輸送
- ✓ システム障害時は印刷済みの名簿で受付

### インターネット投票での コンチプラン

- ✓ インターネット投票ができない場合を想定してイントラへシステムを複製（またはミニム版を展開）
- ✓ 名簿情報をバックアップ、イントラへ展開
- ✓ 個人端末での投票以外に数か所の投票所を設営
- ✓ 期日前投票と当日投票をまとめて長期間の投票期間を設ける
- ✓ 期間内にインターネット投票もしくは投票所でのインターネット投票（またはイントラ）を行う

# インターネット投票に期待されること

## ■期待されるハードルとコスト削減

インターネット投票を導入するにあたってのハードル

- ・既存の運用でカバーできている点は最低でも同等レベルをカバーしていること
  - 既存の投票所での投票を完全撤廃せずに規模を変更して並行運用を行う
- ・既存の運用に該当する部分のコストが削減できること（費用、時間、人力）
  - 投票所の設営や開票作業
- ・既存の運用でできていないことが改善されること
  - 場所を選ばずに投票可能
  - 人的ミスが減るような設計（ミスによる裁判沙汰を避けたい）

【 大前提として法律に抵触せず地方自治体、選挙管理委員会が滞りなく運用できること 】

## 導入する自治体別に考慮が必要なこと

- ✓ 人口密集地、過疎地それぞれ問題点が異なる

### 都心部

- ・投票所数が多い上に選挙人の集中する
- ・選管スタッフの必要数が非常に多い

### 過疎地

- ・投票所が遠方にあり移動が困難なケースも
- ・選管スタッフが集まりにくく高齢者が多い

選挙管理委員会の運用方法や、法律にどこまで厳密な対応を検討すると考慮点は多岐にわたる。